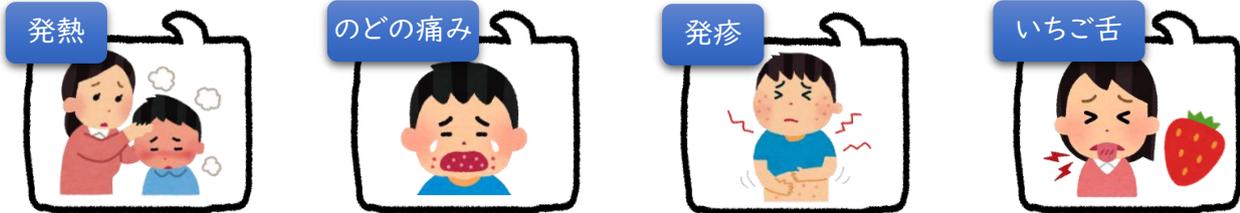


A群溶血性レンサ球菌感染症

溶連菌感染症とは？

溶連菌という細菌がのどや皮膚に感染する学童期の小児に多い病気です。
例年、冬および春から初夏にかけての年2回流行のピークがある感染症です。
潜伏期間: おおよそ2~5日

主な症状は？



感染経路は

咳やくしゃみなどによる飛沫感染
ウイルスに触れた手を介した経口・接触感染



予防

ワクチンはありません。
感染予防の基本は『流水とせっけんで手洗い』『うがい』です。
日ごろからバランスの良い食事や規則正しい生活リズムを心がけ、免疫力を高めましょう。

治療

溶連菌に効く抗菌薬を内服します。
お薬を飲み始めると数日で症状が軽くなりますが、体内から完全に消えたわけではなく、再発してすることがあります。
合併症予防のためにも、症状がよくなっても決められた期間しっかり抗菌薬を飲みましょう。



家庭でのケア

食事・水分

- こまめな水分補給(脱水予防)
- のどに刺激を与えない消化の良い物を食べる
- かたいもの・熱いもの・すっぱいものは避ける



環境

- 適度な室温(暑すぎたり寒すぎたりしない)
- 湿度を保つ(50~60%)
- 定期的な換気



その他

- 湿疹が出た場合は爪を短く切ってかき壊しを防ぐ
- 汗をかいたらこまめに着替える
- 呼びかけても反応が弱いなどぐったりしているときや、水分摂取をしても尿が濃くなったり量が減ったときは医療機関に相談しましょう



家庭内感染予防

- こまめな手洗い(せっけんと流水)
- かかった人とタオルの共有は避ける
- マスクの着用

